

製品名: CD105 (15P10) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe08183**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IF-P
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% 新タイプ防腐剤 N、および 0.05% 保護タンパク質で供給されます。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:500,IF-P 1:200-1:500
分子量	71kDa

抗原情報

遺伝子名	ENG
別名	CD105; END; Endoglin; Eng; HHT1; ORW; ORW1; SN6;
遺伝子 ID	2022.0
SwissProt ID	P17813
免疫原	ヒト CD105 の合成ペプチド

背景

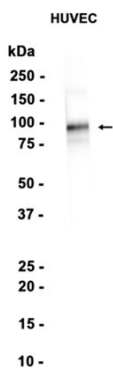
血管内皮細胞の主要な糖タンパク質。内皮細胞とインテグリンおよび / または他の RGD 受容体との結合において重要な役割を果たす

可能性がある。血管新生の調節において重要な役割を果たす血管内皮糖タンパク質 (PubMed:21737454、PubMed:23300529)。成体血管系の正常な構造と完全性に必要 (PubMed:7894484)。血管内皮細胞の移動を調節する (PubMed:17540773)。正常な胚体外血管新生および胎児の心臓の発達に必要 (類似性による)。血流に応じた内皮細胞の形状変化を調節し、血管新生中の血管リモデリングと正常な血管形態の確立を促進する可能性がある (類似性による)。内皮細胞とインテグリンおよび/または他の RGD 受容体との結合において重要な役割を果たす可能性がある (PubMed:1692830)。TGF- β コレセプターとして作用し、最終的に SMAD 転写因子の活性化につながる TGF- β /BMP シグナル伝達カスケードに関与する (PubMed:8370410、PubMed:21737454、PubMed:22347366、PubMed:23300529)。内皮細胞において SMAD1 を介した GDF2/BMP9 シグナル伝達に必須であり、SMAD3 を介した TGFB1 シグナル伝達を調節する (PubMed:21737454、PubMed:22347366、PubMed:23300529)。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



CD105 (15P10) ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HUVEC 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。